

第74回教育研究評議会議事概要

日時 平成22年10月15日（金）13時30分～15時45分
場所 事務局大会議室
出席者 中村（議長）、長野、檜見、櫻井、生田、柴田、前田、矢倉、鹿島、菅野、加納、瀧本、山田、石田、大谷、山本、井関、中西、大竹、大久保、松井、井上、福森、尾島、向田、青木、澤田
欠席者 中村、横山、山崎、向、富田、笠井
陪席者 脇坂、古川、田中、濱田、中村（裕）、谷内江、長尾、三浦、中島、天野、村本、中尾

1 前回議事確認

第73回教育研究評議会（9月17日開催）

2 協議

(1) 自然災害を受けた入学志願者の入学検定料の免除（案）について

議長から、自然災害を受けた入学志願者の入学検定料の免除については「自然災害等で被災した受験生への配慮の基本方針について」（第52回教育研究評議会承認・平成20年10月17日開催）に基づき、災害発生地域ごとに本会議及び役員会に諮り、学長が決定していることが説明された。その後、教育担当理事から[資料1]に基づき、具体的な地域（広島市呉市及び世羅郡世羅町、山口県山陽小野田市並びに広島県庄原市）について説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 平成22年度後期授業料免除の実施方針（案）について

議長から、第72回教育研究評議会（平成22年7月16日開催）及び臨時経営協議会（平成22年8月9日開催・書面附議）において平成22年度前期授業料免除の追加免除について承認されたこと、また、第37回経営協議会（平成22年9月29日開催）において本案件が承認されたことが説明された。その後、教育担当理事から[資料2]に基づき、具体的な申請者数、金額等について説明があり、審議の結果、承認された。

3 報告(1)

(1) 人事について

議長から、[資料3]に基づき、報告があった。

(2) 第2期中期目標期間における国立大学法人評価の改善点について

評価室長から、[資料4]に基づき、法人の自主性・自立性を尊重しつつ、教育研究の特性や評価負担の軽減に配慮した第2期中期目標期間における国立大学法人評価の改善点について報告があった。説明後、評価に係る負担の軽減を図るよう要望があった。

(3) 平成23年度入学者選抜試験日程【一般入試】について

教育担当理事から、[資料5]に基づき、平成23年度の一般入試に係る入学者選抜試験日程について報告があった。なお、その際に前回の本会議で報告された教育研究評議会（臨時）の日程が3月8日（火）9時30分から同日の9時から開催されるとの訂正があった。加えて、議長から、入試に関する全学的な協力要請があった。

- (4) 平成22年度大学院入学者数（10月入学）について
教育担当理事から、〔資料6〕に基づき、平成22年度大学院入学者数（平成22年10月1日現在）について、報告があった。その際に、外国人留学生の占める比率が上昇していることが説明された。また、募集人数欄中の「若干名」との記載について、質問があった。
- (5) 平成23年度学年暦について
教育担当理事から、〔資料7〕に基づき、平成23年度学年暦について、報告があった。説明後、オープンキャンパスが試験期間中に設定されることの妥当性について質問があり、議長から、平成23年度は原案とおりとし、平成24年度以降は検討するとの発言があった。加えて、授業回数の確保と教育の実質化の関連について質問があった。
- (6) 平成22年度文部科学省大学教育改革支援事業（教育関係GP）の選定結果について
教育担当理事から、〔資料8〕に基づき、平成22年度文部科学省大学教育改革支援事業（教育関係GP）において2件採択されたことが報告された。なお、今回採択された「大学生の就業力支援事業」の推進に当たっては学生のアカンサスポータルへの登録が必要となるため、登録について協力依頼があった。
- (7) 臨時使用料の取扱いの見直しについて
財務・附属病院担当理事から、〔資料9〕に基づき、本学が保有する固定資産の貸付けに当たり、学会等については50%の減免、受付部局は最少の部屋数、時間数となるように配慮した見直しを行ったことが報告された。説明後、減免率を50%に設定した経緯等について質疑応答が行われた。
- (8) 研究関係資金獲得状況について
研究・国際担当理事から、〔資料10〕に基づき、平成22年度第2四半期分の研究関係資金の獲得状況について報告があった。
- (9) 特許等実施許諾契約について
研究・国際担当理事から、〔資料11〕に基づき、平成22年9月末日現在の特許等の実施許諾契約状況等について報告があった。
- (10) 大学間交流協定の締結について
研究・国際担当理事から、〔資料12〕に基づき、本学とフランスオルレアン大学との大学間交流協定の締結について報告があった。
- (11) 卒業生アンケートで寄せられた本学が取り上げるべき貴重な建設的意見と対応方針等の検討について
財務・附属病院担当理事から、〔資料13〕に基づき、平成21年度に調査を行った卒業生アンケートにおいて、本学が取り上げるべき貴重な意見と当該意見への対応策について報告があった。
- (12) 石碑「金沢大学誕生の地」除幕式の実施について
財務・附属病院担当理事及び創基150年記念事業準備委員会委員長から、〔資料14〕に基づき、11月6日（土）にホームカミングデイに併せて実施される「石碑「金沢大学誕生の地」除幕式」について報告があった。
- (13) 創基150年記念事業2011アジア学長フォーラム（仮称）について
創基150年記念事業準備委員会委員長から、〔資料15〕に基づき、創基150年記念事業準備委員会において平成23年（2011年）秋に中国、韓国、ベトナム及びタイの学長を招き、「2011アジア学長フォーラム（仮称）」を開催することが決定され、当該フォーラム開催の実施に当たり、実行委員会

を設置することが報告された。併せて、本フォーラムに対し、全学的な協力要請があった。

4 その他

- (1) 「政策コンテスト」に先立つパブリックコメントに対する協力について
議長から、〔資料16〕に基づき、政策コンテストに先立つパブリックコメントに対する全学的な協力依頼、平成23年度の一般会計概算要求及び文部科学省の概算要求・要望の概要、北陸地区国立大学連合による共同新聞広告を初めとする各大学の取組状況等について説明があった
- (2) 「国立大学フェスタ2010」の実施について
議長から、〔資料17〕に基づき、10月及び11月に集中的に大学の施設の開放や研究活動の紹介を行う「国立大学フェスタ2010」について報告があった後、本学で実施する行事について説明があり、謝意と協力依頼があった。
- (3) シンポジウム等の開催について
研究・国際担当理事及び創基150年記念事業準備委員会委員長から、〔資料18〕に基づき、11月7日に開催される益川敏英先生の講演「現代科学と社会」、 「金沢大学創基150年記念講演会・シンポジウム」シリーズの開催について説明があった。
- (4) 補正予算について
議長から、本年度の補正予算に関する現状説明があった。
- (5) 学生の事故について
議長から、サークルK金沢大学店付近で交通事故が多発していること、また、クラブ活動においても事故があったことが説明され、各部局において学生、教職員に対し、十分な注意喚起を行うよう指示があった。
- (6) 名誉博士称号について
議長から、留学生の増加を初めとする教育面での国際化や海外における国際共同研究の進展等が順調に進展していること、また、創基150年に併せ、アジア4カ国における学長フォーラムも計画されていることを鑑み、特に海外における名誉博士称号の授与対象者について今後検討したいとの発言があった。
- (7) 第3回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウムについて
情報担当理事から、11月27日に東京で開催される第3回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウムに対し、積極的な参加を依頼するとともに関係する学会、研究機関等に対しても周知するよう依頼があった。
- (8) 研究紹介データベースへの協力について
学長補佐（学生募集担当）から、学生募集の観点から研究紹介データベースの重要性が説明され、同データベースへの入力依頼があった。